

(様式10)

団体等名(NPO法人〇〇〇〇〇〇)

令和6年度 社会教育関係団体による地域パワーアップ事業
事業実施計算書

	費目	金額	積算の基礎
委託対象経費	報償費	53,000	(9/〇・10/△)〇〇講師謝金11,500円×2回=23,000円 (10/△)□□講師謝金3,000円×10回=30,000円
	旅費	1,750	〇〇講師交通費(9/〇JR+バス) 450円(〇〇駅~△駅、往復)+300円(△~〇バス停、往復)=750円 □□講師交通費(10/△、自家用車) 25円/1km×40km(往復)=1,000円
	需用費	62,250	チラシ作成費 3円/枚×10,000枚=30,000円 ・・・ 講師使用分材料費(〇〇・△△・・・)3,000円のうち2,250円
	役務費	53,000	チラシ等郵送料 530円×100箇所=53,000円
	使用料・賃借料	30,000	〇〇公民館使用料(9/〇、10/△)15,000円×2日=30,000円
	小計	200,000	
その他の経費	需用費	30,000 750	参加者 材料・食糧費 材料費(講師使用分)3,000円のうち 750円
	小計	30,750	
	合計	230,750	

- ①報償費 ……謝金
- ②旅費 ……交通費、宿泊費
- ③需用費 ……消耗品費、印刷費など
- ④役務費 ……電話代、郵送料、ボランティア保険料など
- ⑤使用料・賃借料……会議室などの使用料、機器のリース料など
- ⑥その他 ……①～⑤にあてはまらないもの

・報償費は、日付、役職、単価等を記載してください。
 ・旅費の内訳は、日付、役職、交通手段、単価、距離等を記載してください。
 ・需用費の内訳は、品名、単価、個数等を記載してください。
 ※材料等で品目が多くなる場合は、主なものを記載してください。
 ・使用料・賃借料の内訳は、日付、借用場所、借用物品の名前を記載してください

参加者にかかる費用や、県で負担すべきでないものは原則認められません。

- 【例】
- ・参加者の交通費
 - ・参加者の体験用の材料費(調理、工作などで、参加者が持ち帰る場合)
 - ・参加者の食べ物、飲み物代(食糧費)
 - ・参加者にかかる保険料
 - ・参加者移動用の借り上げバス代(燃料費含む)
 - ・利用する施設用の消耗品(電球やカーペットなど、事業終了後も借りた施設に残るものなど)

※講師側の材料費、保険料等は支払が可能です。

「委託対象経費」の小計は県委託額(200,000円以内)に合わせてください。

もし「委託対象経費」がオーバーしそうな場合、委託上限までを対象経費に含めて、残りを「その他の経費」に分けることができます。

【例】委託額200,000円の場合

各種対象経費 198,000円
 対象チラシ代 20,000円 →このままだと委託対象経費が218,000円

その他の経費 0円

そこで、チラシ代の内2,000円のみを対象に挙げる。
 20,000円-2,000円=19,800円(その他の経費へ)

各種対象経費 198,000円
 対象チラシ代 2,000円 →委託対象経費200,000円

その他の経費 19,800円

※この場合、支出の際の書類が分かれている必要はありません。
 請求書や領収書は1枚にまとめていても大丈夫です。